

子育てのおはなし

臨床心理士
後藤 かをり

第38話

自分の性格と 子どもの性格

あるお母さん、1歳半の息子が、お友達におもちゃを貸してあげられないと悩んでおられます。ほかの子が寄ってきておもちゃに手を出すと、「イヤー!」と暴れるのだそうです。

お母さんとしては、息子が譲りたくない気持ちもわかるけれど、仲良くしてほしいと思い、「貸してあげようね」と譲らせてしまうのだそうです。

お母さんは、自分の人間関係の中では「譲る方」とのこと。「譲らない」性格の息子を受け入れられないと言います。

1歳半の子どもは、まだ人に物を譲ったり貸してあげたりすることができないのが当然、自分のしたいことやほしいものをしっかり主張できることが素晴らしいこ

と、お母さんが「今使ってるからちょっと待ってね」と少し通訳をしてあげたら?などと話しながら、自分の性格と違うところをどう受け止めていくか、一緒に考えてみました。お母さんが自分の「譲る」やり方を息子に譲れないというのは「譲らない」という点では似ているのかな?人に譲らない性格がどこかうやましくもあるのかな?子どもを叱れない親と思われるのかな? などなど。

自分の子どもでも、別人格。親はこうあってほしい方向に子どもを導くけれど、思うようにはいかないのが子育て。それぞれのありようを大事にしながら、ぶつかり合い、譲り合いながら共に暮らしていくところが醍醐味なのだと思います。

募集と お知らせ

トコトコプログラム「かみであそぶ」



トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとその保護者が“一緒に”楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。定員を減らし、手指消毒をするなどコロナウイルス感染防止対策をして10月より再開しています。各回のプログラムの内容はHPをご確認ください。また、LINEでもお知らせを配信しています。

対象：1歳から3歳の末就園の子どもとその親
定員：10組程度
受付：プログラム開始30分前から
1Fインフォメーションにて
※受付開始時刻に参加希望者が
定員以上の場合は抽選



公式LINEアカウント

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって変更する場合があります。

移動児童館・ゆめたま号

児童総合センターのあそびを「ゆめたま号」に乗せて児童館へ運び、現地のスタッフも加わって地域の子どもと大人と一緒に遊ぶプログラムです。あそびをととして、たくさんのお会いを楽しみにしています。

実施機関：

12/4(金) 飛鳥村 子育て支援センター
12/10(木) 豊橋市 こじか子育て支援センターばんび
1/16(土) 春日井市 児童センター
1/28(木) 清須市 春日児童館
2/4(木) 稲沢市 高御堂カトリア児童センター
2/18(木) 瀬戸市 交通児童遊園
2/25(木) 設楽町 子どもセンター
3/3(水) 豊山町 総合福祉センター南館ひまわり
3/10(水) 岩倉市 子育て支援課

※詳細については実施機関にお問い合わせください。

子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol.

2020-21 冬 38

特集 |
夏季特別企画
なんだかうれしい!
2020

子育てのおはなし 第38話
募集とお知らせ



愛知県児童総合センター



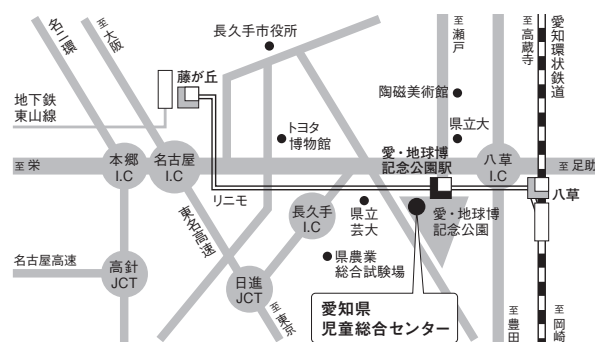
愛知県児童総合センターは「あそび」をテーマにした県立大型児童館です。1996年の開館以来、子どもと大人がともに、心と身体をフルに活用して遊ぶことで、新しい気づきが実感できる時間と空間を提供しています。また、遊具やあそびのプログラム開発、よりよい児童環境のためのネットワークづくり、セミナー・研修、調査・資料収集、移動児童館など多岐にわたる活動を行っています。

〒480-1342
愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL 0561-63-1110
E-mail info@acc-aichi.org
https://www.acc-aichi.org/

開館時間＝9:00－17:00
入場料＝中学生以下無料、その他 300 円

12月の休館日＝7、14、21、29、30、31日
1月の休館日＝1、12、18、25日
2月の休館日＝1、8、15、22日
3月の休館日＝1、8、15、22日

公共交通 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から
機関で … リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車 車 で … 東名高速・日進JCT 経由名古屋瀬戸道路長久手ICから
足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北駐車場利用)



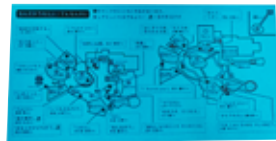
愛知県児童総合センター

なんだからうれしい！ 2020

この企画のタイトルは、谷川俊太郎+だれかとだれかによる絵本『なんだからうれしい』をきっかけにしたもので、2008年に初めて企画し、今回で4回目の開催となりました。私たちの毎日は、とても忙しく、どちらかというと“つらいこと”に気を取られがちですが、日々の生活の中のささいなことや心が少しゆり動かされることで感じる「なんだからうれしい」気持ちに焦点をあててみようと考えました。今回は、みんなの「なんだからうれしい!」をたくさん集める企画として、過去最多の21人のアーティストに参加していただき、それぞれの個性あふれる作品で「なんだからうれしい!」空間を館内全体に展開しました。今期、新型コロナウイルスにより世界が変わっていく中であって、人々の不安や心配ももちろんありますが、そんな時だからこそ「なんだからうれしい」気持ちに寄り添うことで、今一度自分の世界を見つめ直す機会としていただければと思います。



令和2年度夏季特別企画として実施しました。



「パスポート」をもらって、館内のあちこちにある作品を探します



会期中の土日祝日には、「あなたの『なんだからうれしい!』おしえて」を実施しました。また、SNS上では今までに関わっていただいたアーティストの方たちや児童館職員にも参加していただき、たくさんの「なんだからうれしい!」が集まりました。

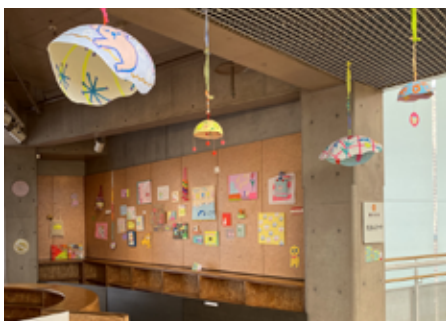
「なんだからうれしい! てんらんかい」特別サイトをご覧ください!
<https://www.acc-aichi.org/nandakaureshi-exhibition/index.html>



田中克彦「森の心 もりのこころ モリのココロ」



河野洋介「ON THE SAME PLANET」



山本マヤカ「lollipop」



岡本涼加「あたり」「リボン」



秋保久美子「いつものみちで」



小川愛「ゆきさき、たくわえ」



中田奏花「消えるまで」



植松ゆりか「うれしいもり」



設楽陸「Hunter」



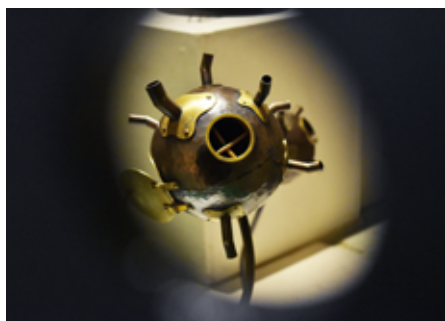
水谷仁美「365」



洞口明里「とまどっと」



金子智将「四季と五感」



佐藤義之「はじまりの家」「生える家」「空のみえる家」



小杉滋樹「無題」



大久保拓弥「Ludus」



近藤望「きもちもの」



鈴木優作「I found you!」



小池達也「絵画を再現する」



田中翔貴「虹の端っこ」

●音の作品

岩住久未「森の歌声」
自然に聞こえてくる嬉しいものを集めてみました。

坂井利絵「おなじだけどちがう」
全て「ド(C)」の音が出る指使いで演奏しました。
吹き方を変えると空気の振動数が変わって、
音色が変わります。
ぜひお気に入りの音を見つけてみてください。